



月刊税理士事務所チャンネル CHANNEL

2022
9
No.493

ミロク会計人会連合会

植田 卓新会長ご就任のご挨拶

金子 秀夫先生ご退任のご挨拶……………2

シリーズ企画

日本のアニメーションの魅力……………4

事務所訪問

塚原喬税理士事務所……………8

ミロクシステムQ&A

『会計大将』……………15

ミロク会計人会連合会 & 単体会

定期総会報告……………11

ミロク会計人会からのお知らせ……………19

四国会企画

足摺の生態系をリアルに再現した

高知県立足摺海洋館「SATOUMI」……………12

今月の表紙: 静寂に包まれる大歩危峡・小歩危峡

場所: 徳島県三好市

日本の未来一
企業を支える



ミロク会計人会

<https://www.mirokukai.ne.jp/>

新会長就任挨拶

ミロク会計人会連合会 新会長 植田 卓

このたび、ミロク会計人会連合会会長に就任いたしました植田卓（うえたか）でございます。前任の金子秀夫先生に引き続き、連合会の発展に努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず、私の自己紹介を簡単にさせていただきます。私は第二次世界大戦後の復興途上に大阪市北区で生まれ育ち、昭和56年の第31回試験に合格して翌57年に開業し、今は大阪市北区中之島で開業しています。

事務所を開業したころは、財務コンピュータもまだ発展途上で、どのベンダーのシステムにするか迷ったので、とりあえず自分で財務システムを組んで様子を見ることにし、平成3年にシステムの将来性からMJSシステムのユーザーになりました。

当時の会計人会は、ユーザーになると自動的に入会となり会費も徴収していなかったもので、逆に会員としての意識も特になく、活動には特に参加していませんでした。

いつ頃から活動に参加するようになったのか記憶は曖昧なのですが、おそらく10年は経っていたのだと思います。その後、平成16年に高松で開催された全国統一研修会で前々会長の平川忠雄先生に偶然お目にかかり、税経システム研究所に誘われ、会計人会のセミナーの開催にも参画するようになりました。

さて、ミロク会計人会連合会は、各地域に組織されている11のミロク会計人会の連合会として組織されており、MJSシステムを導入している全国の税理士・公認会計士の業務改善と職域拡大をはかるため、各地域のミロク会計人会の意見統一や指導・助言などを行うことを目的としています。

連合会は各地域の会計人会の会長を副会長とともに、総務、システ

ム開発、情報ネットワーク、広報、研修の各委員会を設けて様々な活動をしており、その委員には各会計人会から就任を受けています。

つまり、連合会の組織は、各地域の会計人会と委員会とが、タテ糸とヨコ糸の関係として繋がっており、この両者が相乗的に活動することによってこそ活発な活動が期待されるわけで、そのタテ糸とヨコ糸との関係が会員の皆さまに見えるように、より効果的な運営を目指していきたいと思っております。

ところで最近、組織の運営にとって見過ごすことのできない傾向が見えています。具体的には、会員数が想定よりも伸び悩んでいることです。これは組織の維持にとって重要な問題であり、対応を誤ると、組織の存続が危ぶまれる結果を招きかねません。

新たなユーザーに対して会計人会に入会することのメリットを発信できていなければ、新入会員は増えません。また、会の活動が会員のニーズに当てていなければ、退会を選択されてしまいます。これらの解決が喫緊の課題であるといえます。

まずは、ミロク会計人会が、会員にとってどういう活動が必要なのかという原点に立って、ミロク情報サービスと共に検討していきたいと思っております。改めまして、先生方の事務所のご発展とご健勝、株式会社ミロク情報サービスのご清栄をお祈りするとともに、会員先生方のご協力をお願い申し上げます。



退任のご挨拶

ミロク会計人会連合会

前会長 金子秀夫

此の度のミロク会計人会連合会第47回定期総会をもちまして、任期を満了し退任いたしました。平成28年7月の就任以来、会員の皆様はじめ、連合会・単位会の役員各位、さらに(株)ミロク情報サービスの会長様、社長様、職員の方々、事務局スタッフ等、多くの皆様のご協力を賜りましたこと、誠に有り難く、心より感謝申し上げます。



就任時のご挨拶で申し上げましたが、ミロク会計人の寄って立つ業務基盤は、わが国の中小企業であります。この日本経済を下支えし、民間雇用の70%を確保している中小企業に寄り添い、経営を維持発展させるよきパートナーとしてミロク会計人会は存在し、そのことで社会的使命を果たしているものと考えます。社会経済は進化していきませんが、このようなミロク会計人会の存在意義はこれからも変わらないと思料します。

残念ながら任期の後半は新型コロナウイルスの蔓延に見舞われ、全国的に活動が制限されて全国統一研修会の開

催できえ、その影響を受ける事態となつてしまいました。それゆえ、組織拡大、財政確立などの基本的な課題が解決できないままバトンを引き継ぐことになりました。新執行部には斬新な企画でこれらの課題へのお取り組みをお願い申し上げます。

世はICT導入の真只中、電帳法もインボイス制度もその一端ですが、MJSシステムという強力な武器を駆使して参りましょう。

末筆となりますが、MJS社と会計人会の一層のご発展、さらに会員皆様のご健勝、ご清栄を祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

ミロク会計人会 入会のご案内

ミロク会計人会は、ミロク情報サービス(以下、MJS)のシステムをご利用の税理士・公認会計士の先生方で組織された職業会計人の任意団体です。ミロク会計人会連合会には全国11の単位会と5つの委員会が組織されており、職業会計人の社会的地位の向上とその顧問先企業の発展に貢献することを活動方針としています。

本会に入会されると、以下の特典があります。

- (1) MJS 税経システム研究所・客員研究員などの講師による認定研修会などの無償もしくは会員特別料金での受講サービス
 - (2) MJS システムや税法などに関する実務的な研修サービス
 - (3) ミロク会計人会のシステム開発委員会を通して、MJSへシステム要望や提言などを提示できる
 - (4) ミロク会計人会紹介手数料制度を通し、MJSとともに顧問先の経営支援ができる
 - (5) ミロク会計人会ホームページ『会員の部屋』にアクセスし、事務所経営などに役立つ情報満載の委員会の成果物ダウンロードや会員限定で利用できる掲示板を使い、会員同士の情報交換が可能になる
 - (6) 「MJSのミリョク! ホームページ作成サービス」を利用し、さらに本会とMJSのバナーを自所のホームページに貼っていただくとMimart(MJSのサブライ商品購入サイト)でご利用いただけるMimartポイントを毎月2000円分もらえる*
 - (7) 業務提携先であるエヌエヌ生命保険株式会社よりMJS会計ソフトの財務データと連動して、簡単に顧問先様のリスク分析ができる「リスク分析ソフト」をご希望者に無償で提供してもらえます
 - (8) 同じMJSのシステムを使う会計事務所同士の情報交換・人的ネットワークを構築、拡大できる
- 入会をご希望の方、または本会についてもっと詳しくお知りになりたい方は、本会のホームページ (<https://www.mirokukai.ne.jp/>) をご覧になるか、MJS各支社・営業所にご連絡ください。

*本特典の対象サービスは、「ミリョク! ホームページ作成サービスStandard」と「ミリョク! ホームページ作成サービスPremium」です。「ミリョク! ホームページ作成サービスLite」は対象外です。また、バナーとはマークを押すだけでサイトにリンクする看板広告です

日本のアニメーションの魅力

今や世界に誇るコンテンツとなった日本のアニメーション作品。毎年のようにヒット作が誕生する背景には、多くの作家やスタッフたちの努力があります。そこで、世代を越えて、日本のアニメーション作品のことを体系づけて学ぶことができる杉並アニメーションミュージアムを訪ね、日本のアニメの歴史や技術力の変遷を辿ってみたいと思います。

100年以上の歴史を持つ 日本アニメの原点

2017年、一般社団法人日本動画協会は日本のアニメ100周年を記念して「アニメNEXT100」プロジェクトを立ち上げ、その活動分野のひとつである「アニメ大全」で、10月22日を「アニメの日」として日本記念日協会に正式登録しました。1958年、日本アニメの成長の原点とも言える作品、日本初の総天然色長編アニメーション映画『白蛇伝』が公開された日に因んで記念日としたそうです。この作品から、杉並アニメーションミュージアムの展示をもとに日本アニメの発展の変遷を辿っていきましょう。『白蛇伝』の制作を手掛けたのは東映動画



吉田 力雄 氏

東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム 館長

1954年千葉県出身。78年日本大学芸術学部放送学科卒業、(株)東京ムービー(現・トムス・エンタテインメント)入社。テレビシリーズ『新・巨人の星』や宮崎駿の監督作品『ルパン三世 カリオストロの城』などの制作を担当した後、海外共同制作作品のため現地マネージャーとしてTMS-TAIPEIやTMS-SEOULに駐在、国内では「それいけ!アンパンマン』『ルパン三世』『名探偵コナン』他、さまざまな作品の制作委員会に参加。取締役・営業管理部長兼デジタル素材制作室長を経て、マーケティング局長、上席執行役員、特別顧問を歴任し2020年3月に退職、翌4月、東京工芸大学杉並アニメーションミュージアム館長に。

(現・東映アニメーション)。当時、アメリカに後れをとっていた日本のアニメ業界を発展させ、東洋のデイズニージを目標そうと発足した制作会社で、制作効率が悪く経営基盤も弱かった従来の個人プロダクション形態から、アメリカ同様の分業式の制作システムへと転換を図ったことが同社最大の功績です。多くの新人を動員して制作した長編第一作『白蛇伝』の美しくなめらかな映像は観客に衝撃を与え、これを見てアニメーターを目指した人も多いた言われています。

そんな東映動画とともに日本アニメの礎を築いたのが、手塚治虫率いる虫プロダクションです。1963年1月、同社が手掛けた日本初の連続テレビアニメ『鉄腕アトム』は最高視聴率40%

以上、平均視聴率30%の大ヒット作品となりました。そして、この成功に注目したテレビ局や制作会社がアニメ制作に参入、T.C.J(現・エイケン)の『鉄人28号』、東京ムービー(現・トムス・エンタテインメント)の『オバケのQ太郎』や『ビッグX』などのヒット作が次々と制作され、後に第一次国産アニメブームと呼ばれる黄金期を迎えたのです。

その後、1970年代以降には日本アニメのエポックとして語られる作品が多数誕生しました。ここからは、そのいくつかを順に振り返ってみたいと思います。

人間ドラマあふれる SFアニメに若者が熱狂

1974年にテレビアニメシリーズが放映された『宇宙戦艦ヤマト』(読売テレビ、オフィス・アカデミー)は、戦争の描写や濃厚な人間ドラマなどそれまでのアニメ作品にはない要素を取り入れた意欲作です。当初こそ視聴率が伸び悩み半年で終了となりましたが、コアなファンが徐々に全国に広がり、再放送もされて人気が上昇、1977年8月に劇場版『宇宙戦艦ヤマト』が公開されると、初日には前夜から劇場前に並ぶ長蛇の列が。社会現象としてマ

東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム

日本のアニメ作品の多くが東京都杉並区で生み出されてきたことをご存知でしょうか。2020年の調査によると、アニメ制作関連会社は全国に811社あり、そのうち149社が杉並区にあって日本一の数となっています（一般社団法人日本動画協会「アニメ産業レポート2021」）。吉田 力雄氏が館長を務める杉並アニメーションミュージアムは、そんな杉並区のアニメ文化を盛り上げ、また日本アニメのこれまでの歩みを伝える発信施設として2005年にオープンしました。

館内では、日本でアニメが生まれてから現在までの歴史を振り返る展示やアニメ制作現場の再現コーナーなど、アニメについていろいろなことが学べる他、1917年に公開された現存する日本最古のコマ撮り式短編アニメ『なまくら刀（塙内名刀之巻）』の一部を見ることができます。また、迫力ある大画面のアニメシアターでは、企画展と連動したアニメ作品や国内外問わず気になる作品の傑作選などを上映。声優の仕事が体験できるアフレコブースや自分の考えたアニメを描いてコマ撮りし、完成品を鑑賞できるデジタルワークショップスペースも人気です。

残念ながら現在は建物の工事のため休館中（12月初旬までを予定）なので、関心がある方は営業再開後に足を運んでみてください。

①日本アニメの歴史が学べる展示コーナー／②ミュージアム外観／③アニメ制作現場を再現した「アニメができるまで」コーナー／④声優の仕事が体験できるアフレコブース／⑤ワークショップの様子



スコミが報じたこともあって、大ヒットしました。

1979年にテレビ放映された富野由悠季監督の『機動戦士ガンダム』（日本サンライズ）も、『宇宙戦艦ヤマト』と同じく当初はいまひとつ人気が出ませんでした。各地での再放送を通じてその面白さが見直され、ヒットにつながっていった作品です。宇宙を舞台とした戦争におけるリアリティに富んだ人間ドラマと、ロボットを「モビルスーツ」と呼ばれる兵器の一種として扱う設定を導入したことなどは画期的で、後に「リアルロボットもの」と称される一連のロボットアニメ変革の先駆けとなりました。また、バンダイから発売されたモビルスーツを再現した玩具「ガンプラ」が爆発的にヒットするなど、キャラクター商品のヒットが作品の強力なプロモーションにつながり、先例を作ったのもガンダムの偉業と言えるでしょう。その後、現在に至るまでガンダムシリーズとして数多くの作品が制作され、現在もなお幅広い層に支持されています。

1980年代に産声を上げたスタジオジブリ

1984年、宮崎駿が監督・原簿・脚本・絵コンテを手掛け、東映動画時

代からの彼の盟友である高畑勲がプロデューズした『風の谷のナウシカ』が公開され、劇場長編アニメとしては久々のヒット作となりました。この成功を受け、宮崎・高畑コンビの作品を世に送るために徳間書店の出資で設立されたのがスタジオジブリです。

同スタジオは1997年の『もののけ姫』で興行収入193億円を達成、『E.T.』の持つ日本映画界の最高記録を押しつけて歴代1位となりました。この記録は一時、ハリウッド超大作『タイタニック』に抜かれましたが、2002年には『千と千尋の神隠し』があっさり抜き返して観客動員数2350万人、興行収入304億円を達成。さらに第52回ベルリン国際映画祭の最高賞である金熊賞に輝き、ジブリ映画は国内外にファンを持つ日本映画の代表格にまで上り詰めました。

世界に誇る文化となった 日本アニメの魅力

海外からの評価ということであれば、いち早く日本の高度なアニメ制作技術の世界中に知らしめたのは、1988年に公開された大友克洋原作・監督の劇場版『AKIRA』（東京ムービー新社、アキラ製作委員会）です。制作費10億円をかけた壮大なプロジェクトの

末、当時のアニメ作品としては破格の15万枚のセル画を使用。その1枚1枚の細部までこだわり抜くことで実現した圧倒的なビジュアル表現は世界に衝撃を与えました。

そして1995年、押井 守監督の『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』（Production I.G.制作）が日本アニメの地位をさらなる高みに押し上げました。電脳化やサイボーグの技術が飛躍的に進んだ近未来を舞台に、実写のようなリアリティを持ちながら実写では表現できない世界を描いたこの作品は、米国ビルボード誌（1996年8月24日号）のビデオ売上ランキングで1位に。これは日本の映像作品としては初の快挙であり、日本ではアニメ関係者のみならず、一般週刊誌や新聞、テレビなどあらゆるメディアが報じ、アニメが日本を代表する文化であることが広く認識されました。

リミテッドアニメに始まる 日本アニメの技

なぜ日本のアニメはここまで多様性を獲得することができたのでしょうか。一つには、制限された環境・条件下で試行錯誤しながらさまざまな表現技法を生み出した日本のテレビアニメ

草創期の先人たちの功績が大きかったと言われています。1963年に日本初の連続テレビアニメとして『鉄腕アトム』が放映されたことは既にお伝えしましたが、当時、制作コストや人材確保など難問が山積みで、どのアニメ制作会社も毎週30分枠のシリーズアニメの制作には二の足を踏んでいました。30分アニメをまともに制作すると1000万円かかると言われ、それに比べてアメリカアニメの購入価格は30万円ほど。とても太刀打ちできなかったのです。そこで、国産初の長編連続アニメを目指して手塚治虫が採用したのは1秒24枚必要な動画を8枚で表現する「3コマ撮り」やキャラクターの口だけが動く「口パク」といった「リミテッドアニメ」と呼ばれる手法と、同じ動きをストックして使いまわす「バンクシステム」、全く動かさないう「止め絵」といった技法でした。なんと、これによって制作費を150万円にまで圧縮できたといえます。おかげで『鉄腕アトム』以後は数多くのアニメ作品が制作されるようになり、「できることに制約があるなかでいかに自然でいきいきとした動きを演出するか」という試行錯誤の中で新たな技術が生まれ、表現の幅が広がっていったのです。

そのあたりのことについて、(株)東京ムービー(現・トムス・エンタテインメント)でさまざまなアニメ作品に携わってきた同ミュージアム館長の吉田力雄氏に聞いてみました。例えば、吉田氏が制作を担当した宮崎 駿監督作品『ルパン三世 カリオストロの城』（1979年）はまさに当時の日本アニメの技術の粋を集めたような作品。「クライマックスで時計塔が水しぶきをあげながら沈んで水門が決壊し、その後現れた宮殿跡が水が流れるシーンでは、背景と作画の工夫によってCGのない当時としては非常に高度な水の動きが表現されている」と吉田氏。「ただ絵の枚数を増やして動きをなめらかに見せればよいというのではなく、『動かし方』を工夫することでリアルで印象的な動きを実現するのはまさに職人技だといえます。そのこだわりがあればこそ、『カリオストロの城』が公開40年以上経った今も色あせずファンに支持され続けているのでしょう。」

映像表現と制作工程の 両面で進むデジタル化

こうして研鑽され続けてきた技術や工夫に、新たな表現の可能性として1990年代後半から加わったのがCG(コンピューター・グラフィック

日本アニメ誕生を記録した『にっぽんアニメ創生記』

日本アニメが産声を上げたのは1917年。漫画家から転じた下川凹天が作った短編映画『凸坊新書帖 芋助猪狩の巻』が日本初の商業アニメーションで、同年、現存する最古のアニメフィルム『なまくら刀』（幸内純一制作）も公開されたといえます。本書はこの下川凹天と幸内純一、北山清太郎という「日本国産アニメのパイオニア3人衆」を軸として、日本アニメの夜明けの姿を描いた貴重なドキュメント。アニメ生誕100周年を記念して一般社団法人日本動画協会が立ち上げたプロジェクト『アニメNEXT_100』の一環で企画・出版された一冊です。



『にっぽんアニメ創生記』
渡辺泰・松本夏樹 著、2020年、
集英社、2860円

ス)です。セル画を何枚も使わずとも、コンピューターで自在に水の動きなどの自然現象を表現したり、モーションキャプチャを使ってキャラクターを写真のように動かしたりできるようなになったのです。このCGの使い方についても、日本は独特。海外と違って、単に動きやリアルさのためだけでなく、

迫力が出るようあえてデフォルメしたり、手描きアニメ風にしてみたり、さまざまな可能性を模索しています。また、CGの普及とともにこの20〜30年で進んだのがアニメ制作工程のデジタル化です。アニメーションの伝統的な制作方法といえば、紙に描いた絵を透明のシート「セル」に転写し絵具を塗ってセル画を作り、このセル画をいくつも入れ替えながら16mmフィルムや35mmフィルムで撮影する、といったものです。しかし、1990年代後半から2000年代にかけて彩色や撮影、背景美術などが次々とコンピューター上での作業に移行。現在では絵コンテや作画の段階からデジタルで行うケースが増えています。

今やセルアニメは過去のものとなり、デジタルアニメが主流となったわけですが、吉田氏によれば「その中で作品をいかに永続的に保存していくか

が課題となっている」とのこと。デジタルアニメはデータだけで作品を管理できる反面、何らかの原因でそのデータが消失したり、保存媒体が不具合を起こしたり劣化することで永久にその作品のオリジナルが失われてしまします。一方、フィルムであれば環境さえ整えれば数百年の長期保存が可能です。だから作品を後世に残していくためには、フィルム保存が確実なのです。実際、吉田氏は「以前、『名探偵コナン』劇場版の制作に携わっていた頃、かならずデジタルデータを35mmフィルム原版に戻して長期保管できるようにしていた」そうです。

ただ、当然のことながらフィルムによる保管には大きなコストがかかります。このことから「アニメ制作会社の中には『フィルム原版は不要』という考えの経営者も多数いるのが現状」。そのコストが経営を圧迫してしまうことを考えると、仕方のない面もあるのでしょう。「とはいえ、フィルムやセル画、原画、さらにキャラクター・美術設定などの資料も含め、全ては日本が世界に誇るアニメ文化にとって大事な資産。国を挙げてのアーカイブ化や保存管理などが必要だ」と吉田氏は話します。

ネット配信動画の普及で
アニメ作品がさらに急増

日本アニメ業界は今なお多種多様な作品を生み出しており、インターネット配信されている動画コンテンツをパソコンやスマートフォン、タブレットなどで手軽に視聴するスタイルが普及したことで、その勢いは増しています。当然、こうした中で若い作り手たちがどんどん育っています。そもそもアニメーションには正解・不正解もマニュアルもなく、その表現の可能性は無限大。ぜひ次世代を担う若手作家やスタッフたちには、これまで業界で先人達の積み重ねられてきた技術を基本としつつ、これまでにない新たな表現に挑戦してほしいと思います。

本誌アンケートに答えた方に毎月抽選で

2,000円分を
プレゼント!



QRコードからアクセスし、
ぜひお答えください!



管理会計を徹底したサポートで 顧問先の課題解決と組織変革を目指す

「変化に対応し、変わらぬ安心を提供できるよきビジネスパートナーになる」というコンセプトの下、徹底した管理会計によって地域の中小企業経営者の経営サポートに尽力してきた塚原喬税理士事務所。所長の塚原 喬先生にその知見とノウハウ、そして今後の展望を伺いました。

—— 塚原先生は大学卒業後、地元の金融機関での勤務を経て税理士資格を取得されたそうですね。異色の経歴といえますが、どういったお考えからこうした道を歩まれたのでしょうか。

塚原 喬所長（以下、敬称略） 大学4年生の時、思うところあって「地域の中小企業の経営者の方たちの助けになりたい」と税理士を目指すことを決めたのですが、いきなり資格を取得して会計事務所に勤めるのではなく、その前にぜひとも経験しておきたかったのが金融機関の立場でした。中小企業の経営を資金面で支える彼らが、どうい

よきビジネスパートナーとしての顧問先支援

った基準で貸付や融資の可否を判断しているのかを肌感覚で学びたかったです。また、もうひとつ正直なところを言うと、もし税理士資格の取得に手間取るようであれば、そのまま金融機関職員の立場で地場企業をサポートしていくのもいいだろうとも考えていました。幸い、1年目に1科目を合格することができ、手応え十分だったので、1年間ほどで職を辞して勉強に専念し、2年後には税理士資格を取得することができました。そして地元の会計事務所、所で3年間ほど修業した後、2015年に独立を果たしたのです。1年弱とはいえ、金融機関での勤務経験はその後の私の税理士人生にとって大きな財産となっています。

事務所 訪問

塚原喬税理士事務所

所在地 徳島県徳島市住吉1-6-22
TEL 088-624-8570
創業 2015年
職員数 11名
URL <https://tsukatax.com/>



——そうした経験を踏まえ、開業時にどのような経営方針を掲げましたか。

塚原 開業当初から現在に至るまで「変化に対応し、変わらぬ安心を提供できるよきビジネスパートナーになる」という理念を掲げてきました。そして「ビジネスパートナー」として継続して顧問先企業の課題解決や成長に寄与するために、最も重視しているのが管理会計の視点と考え方です。例えば、経営者の方との打ち合わせは最低でも年3回、上半期を過ぎたタイミングと期

(左)一人分が広くスペースがとられ、仕切りで集中して仕事ができる執務室です
(下)事務所のエントランスには、香川県高松市のモスルーム工房 (<https://mossroom.jp/>) が手掛けた「モスルーム」が設置されており、苔とミストが涼しげに来訪者を癒してくれます



末決算の約3カ月前、そして決算後に行います。中でも重要なのが決算3カ月前の打ち合わせです。それまでの9カ月の実績を踏まえた上で「今期の業績はおそらくこのくらい、納税額はこのくらい」とその年度の決算予測を立て、データから見えてきた経営課題や来期の投資計画などについて相談するわけです。

顧問先の新規開拓と 職員の意識改革に尽力

——開業後、すぐにそうした管理会計による経営サポートを実践できたのでしょうか。

塚原 いえ、最初はかなり苦労しました。以前、所属していた会計事務所から職員や顧問先を引き継ぐ形での開業だったので、何しろ当時の私はまだ29歳。「従来のやり方を変えましょう」と言ったところで周囲がそれをすんなり受け入れてくれるはずがありません。また、顧問先を新規開拓しようにも、やはりまだ実績もない若手税理士にいきなり経営サポートを任せてくださる企業はなく、最初の頃はスポットでの決算申告や記帳業務などを引き受けていました。ただ、その頃から顧問先の「ビジネスパートナー」として「安心を提供できる」税理士になること

は心に決めていたので、採算割れになろうとも決算予測のための打ち合わせなどは積極的に行ってきました。そうした努力と思いが徐々に顧問先に伝わり、その評判が口コミで周囲に広がったことで、経営サポートの引き合いが増えていったのです。

——以前、所属していた事務所から引き継いだ職員の方たちの意識変革も大変だったのではないのでしょうか。

塚原 おっしゃる通りです。以前は9カ月の決算を日常業務として行っていたため、仕事の流れそのものを変え、慣れてもらうまでに1年以上かかりました。「事前に予測を出してしまうと、決算数字がその通りいかなかった場合に顧問先からクレームが入ってしまうのでは」という意見もありましたが、そもそも不測の事態が生じるリスクがあるからこそ決算予測を早めに出し、顧問先とコミュニケーションを重ねる中で戦略を練っていく必要があるのだから、予測通りいかないことを恐れていては本末転倒です。そのことを根気よく伝えていくうちに、顧問先から決算予測を高く評価してくれる声も上がり、少しずつ職員たちの考えや仕事の仕方が変わっていきました。今では、職員自ら9カ月決算の資料や資料に対するコメントを提出してもらえ

るので助かっています。

組織変革をサポートする 経営の実行支援に挑戦

——管理会計を基本とした経営サポートのスタイルが、事務所全体と顧問先に浸透していったのですか。

塚原 そこで今、次のステップとして取り組んでいるのが管理会計を通じて課題や対応策を提示したその先、まさに顧問先のビジネスパートナーとして課題解決を実行支援していくコンサルティンク業務です。そのために数年前から勉強を続け、中小企業診断士の資格も取得しました。実行支援にあたっては、経営者の方との打ち合わせはもちろんのこと、マネージャークラスの従業員の方とも管理会計指標を共有し、毎月ミーティングを行って組織文化を変革していくところまでサポートします。

——既にそうした実行支援の事例は出てきているのでしょうか。

塚原 複数の案件に取り組んでいます。例えばある老舗小売業のケースでは、半年ほどのコンサルティンクを通してまさに経営課題の解決と組織文化の変革が順調に進んでいます。その会社はバブル期に在庫の資産価値がはね上がって大きな利益を生み出した成功



本格的な経営コンサルティングに尽力する塚原 喬先生

体験から「在庫はたくさん持っていたほうが良い」という先代の考え方が今も息づいており、実際に20年以上も前の在庫がかなりの量そのままになっているのが問題でした。この点については借入先の金融機関からもたびたび指摘を受けてきたそうで、経営層も頭を悩ませていました。そこで、私は最初から在庫過多を悪と決めつけるのではなく、何年度の在庫がどのくらい残っているのか、それぞれの回転率はいかほどか、製品として価値はあるのかなどのデータを見る化し、それをもとに今後の在庫管理について考えるミーティングを行ったのです。当然、そのミーティングには経営層だけでなく、現場の従業員にも参加してもらいま

た。彼らに向けて「在庫金利」（在庫保有による負担を保有期間に応じて仮想の資金コストとして示す、管理会計上の金利）の考え方をレクチャーし、この20年間に毎年、在庫保管にどれだけのコストがかかってきたかを明示したところ、衝撃を受けた彼らは自発的に「2015年以前の在庫を販売可能性などに応じてランク分けし、それぞれのランクに応じた管理・処分方法を設定します」と提案。早速、ランクC、Dは価格を下げてネットで販売する、Eは処分する、といった感じで在庫管理体制を整えつつ在庫のスリム化を実践したのです。その結果、みるみるうちに棚卸資産回転率が上がり、同時に今年度の売上も前年度比2〜3割増を見込

むなど極めて好調に推移しました。また、この在庫管理体制の構築などに向けたミーティングは全て議事録を取っており、これが経営課題の解決や組織文化の変革を示す記録となっているため、金融機関からの評価にも大いに貢献しました。

とても習得できません。幸い、当事務所には勉強熱心な職員が多いので、少しずつノウハウを伝えていきたいと考えています。

——最後に今後の展望をお聞かせください。

塚原 経営の実行支援にまで踏み込んだコンサルティング業務は、中小企業の経営数字に触れる税理士にとって大きな使命だと思っています。これからも顧問先に多くの「安心を提供できる」よう、私自身が研鑽を積むのはもちろん、事務所全体のスキルアップに努めていきます。

私が単独で2〜3件手掛けているのが現状です。税務や管理会計のみならず、経営の知識やコミュニケーション能力、ファシリテーター力なども必要になってくる業務であるため、一朝一夕では

——本日はありがとうございました。ますますのご発展をお祈りいたします。

History & Story

税理士までの歩み

母が学校の先生だったこと、進路に悩んでいる時に教師たちに相談に乗ってもらったことなどから「将来は自分も教師になって、子どもたちを支えてあげたい」と考えていたという塚原先生。数学教師になろうと理学部へ進学し、教員免許を取得されましたが、大学4年間続けたワインバーでのアルバイトを通してさまざまな立場の大人たちを接客する中で考えに変化が。企業経営者の悩みに触れて、彼らをサポートする仕事をしたいと考えようになったのです。そして、金融機関で働いた後に税理士として独立するキャリアを思い描き、大学卒業後はまず地方銀行に就職。在職中の1年間と退職後に勉学に励んだ末、税理士資格を取得。地元の会計事務所で約3年間修業した後、2015年に独立開業を果たされました。

第47回ミロク会計人会連合会定期総会報告

ミロク会計人会連合会および各単位の定期総会が開催されましたので、ご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面とリモート会議を組み合わせたハイブリッド型での開催も取り入れられました。

日時 2022年7月26日(火)

会場 株式会社ミロク情報サービスならびに全国各所

(ハイブリッド開催)

議題

第1号議案 第46期事業報告承認の件

第2号議案 第46期収支決算承認の件

第3号議案 監査報告

第4号議案 第47期事業計画(案)承認の件

第5号議案 第47期収支予算(案)承認の件

第6号議案 役員改選(案)承認の件

顧問委嘱の件

報告事項

(1) 新任副会長の件

(2) 『第46回全国統一研修会』いわて盛岡大会開催の報告

(3) 各単位の状況

(4) 各委員会の活動

(5) MJSの現状

(6) その他

次の方々が連合会副会長として報告されました。



関東信越会
今井 彰 新会長



九州会
笹田 毅 新会長

単体会 定期総会報告

中国会

日時/2022年7月13日(水)

会場/ホテルグランヴィア岡山

《審議事項》

第1号議案～第4号議案承認

《記念講演会》

演題/相続税の“鉄則”に従ってはいけないケースとその留意点

講師/MJS税経システム研究所 中島 孝一 氏

東京会

日時/2022年7月1日(金)

会場/ハイアットリージェンシー東京

《審議事項》

第1号議案～第4号議案承認

《研修会》

演題/待ったなし! インボイス制度の徹底検証～令和4年度改正を踏まえて～

講師/税理士 熊王 征秀 氏

四国会

日時/2022年7月6日(水)

会場/リーガホテルゼスト高松

《審議事項》

第1号議案～第4号議案承認

《記念講演会》

演題/日本の防衛(私見)

講師/元海上自衛隊海将・横須賀地方総監、博海堂株式会社 代表取締役、香川大学客員教授、防災士(日本防災士機構認定) 高嶋 博視 氏

北陸会

日時/2022年6月10日(金)

会場/ANAクラウンプラザホテル金沢

《審議事項》

第1号議案～第5号議案承認

《記念講演会》

演題/サイバー担当元刑事が教える採用面接で応募者の素がわかるSNS調査術～ネットを使って人を見抜く～

講師/一般社団法人日本刑事技術協会 理事、サイバー犯罪・薬物銃器犯罪専門家 森 雅人 氏

北海道会

日時/2022年7月22日(金)

会場/ホテル黒部

《審議事項》

第1号議案～第3号議案承認

《講演会》

演題/地域活性化とオホーツク

講師/アグリイノベーション大学校 顧問、前東京農業大学 教授 黒瀧 秀久 氏

九州会

日時/2022年7月20日(水)

会場/リーガロイヤルホテル小倉

《審議事項》

第1号議案～第4号議案承認

《講演会》

演題/小倉藩余滴～小倉城築造から奇兵隊との戦いまで～

講師/西日本国史文化研究所所長、全国戦史研究会会長、乃木希典小倉顕彰会会長、門司港レトロFM顧問 菊池 満 氏

中部会

日時/2022年6月23日(木)

会場/名鉄グランドホテル

《審議事項》

第1号議案～第4号議案承認

《記念講演会》

演題/法人税関係の気になる裁決事例(2)

講師/MJS税経システム研究所 顧問 税理士 植田 卓 氏

東北会

日時/2022年7月8日(金)

会場/ホテルメトロポリタン盛岡

《審議事項》

第1号議案～第5号議案承認

《講演会》

演題/新渡戸稻造生誕160年

～人を耕し、世界を拓く～

講師/盛岡市先人記念館 館長 久保 智克 氏

沖縄会

日時/2022年6月6日(月)

会場/ザ・ナハテラスならびに各所(ハイブリッド開催)

《審議事項》

第1号議案～第4号議案承認

《講演会》

演題/最近の金融経済情勢～世界経済・日本経済・沖縄経済の現状と見通し～

講師/日本銀行 那覇支店長 飯島 浩太 氏

近畿会

日時/2022年7月14日(木)

会場/ホテルグランヴィア大阪

《審議事項》

第1号議案～第3号議案承認

《記念研修会》

演題/配偶者と相続税及び贈与税

～配偶者に係る相続税・贈与税の取扱い～

講師/税理士 武田 秀和 氏

関東信越会

日時/2022年7月7日(木)

会場/ホテルプリランテ武蔵野

《審議事項》

第1号議案～第5号議案承認

《記念講演会》

演題/どうなる日本経済! 経済予測と企業経営

講師/株式会社第一生命経済研究所経済調査部 首席エコノミスト 永濱 利廣 氏

足摺の生態系をリアルに再現した 高知県立足摺海洋館「SATOUMI」

四国最南端の地「足摺岬」を擁する高知県土佐清水市。その竜串エリアに位置し、2020年7月にリニューアルオープンしたのが高知県立足摺海洋館「SATOUMI」です。目の前に広がる美しい海の中を体感できる竜串湾大水槽や外洋と深海に生息する海洋生物の展示、プロジェクションマッピングで演出された「足摺の原生林」エリアなど、足摺宇和海国立公園の豊かな自然を満喫できる展示内容になっています。その楽しみ方やこの地域ならではの海洋特性、アクティビティなどについて、同館総務企画課にご紹介いただきました。

2020年にリニューアルオープン
足摺の原生林から太平洋に至る
生態系をリアルに再現

土佐清水市にある高知県立足摺海洋館は、土佐清水市の竜串地域が1972年に足摺宇和海国立公園に指定されたことを機に1975年に開館、以来300万人を超えるお客様が訪れてくれた地域を代表する観光施設です。しかし、開館からおよそ40年が



高知県立 足摺海洋館 SATOUMI

〒787-0450 高知県土佐清水市三崎4032
 TEL：0880-85-0635
 FAX：0880-85-0650
 E-mail：manbow@kaiyoukan.jp
 駐車場：無料（乗用車284台、バス10台）

広域地図と足摺海洋館「SATOUMI」の案内

経過した2013年の耐震検査により、耐震基準が満たされていないことが判明。また、入館者数の減少傾向が続き、観光の核としての役割や生涯学習の場としての機能が果たせない状況になっていたことから、いろいろな場での議論を経た後、竜串地域、ひいては高知県西部の観光を牽引する施設として、2020年7月に足摺海洋館「SATOUMI」としてリニューアルオープンを果たしました。



足摺の原生林を再現。足摺半島にはスタジイをはじめとする常緑広葉樹を中心とした巨木が鎮座する森が広がっており、SATOUMIの展示は山や川、海を再現している



竜串湾を望んで建つ海洋館SATOUMI。右手に海底館、左手には竜串・見残しの奇岩が見える



高知県立足摺海洋館「SATOUMI」の外観。施設は2階建てで展示は大きく6つのエリアに分かれている。常設水槽70基。開館時間9:00～17:00、年中無休

INFORMATION

●手軽に海中散歩が楽しめる

竜串海域公園のランドマーク「足摺海底館」

足摺宇和海国立公園の中にある竜串・見残しエリアのシンボリックな海中展望塔。今年で開館50年を迎え、今年度中には国の登録有形文化財(建造物)として登録予定となっています。このエリアには黒潮の恵みを受け、豊かな自然環境の中で育まれてきた多数の造礁サンゴや魚たちが生息しており、水面下7mにある海中展望室からはテーブルサンゴ、シコロサンゴをはじめ、熱帯魚やハリセンボン、時にはウミガメ、イワシ、キビナゴなど竜串湾に生息するさまざまな生き物たちの姿を直接観察することができます。

住所:土佐清水市三崎地先 TEL0880-85-0201

●美しい竜串湾の海中の様子を船底から直接観察できる

「グラスボート」

日本で最初に海中公園(正式名称は竜串海域公園)に指定された竜串湾の海中を船底から直接観察することができるグラスボート。日本最大級の規模を誇るシコロサンゴの群体のほか、見残し海岸では風や波に浸食された海岸線を眺めることが可能。また、グラスボートで渡った先では「奇岩の異空間」でのハイキングも楽しめます。

住所:竜串海中観光 土佐清水市三崎4135-2

竜串観光汽船 土佐清水市竜串19-10

●50000点の貝を展示する「海のギャラリー」

海洋館から徒歩10分の距離にある日本でも珍しい貝類展示館。日本の三宝と称されるテラマチダカラ、オトメダカラ、ニッポンダカラをはじめとして、1m以上の大きいものから、1mm以下の小さいものまで約3000種50000点の貝を展示しています。

住所:土佐清水市竜串23-8 TEL0880-85-0137

●国際人ジョン万次郎の生涯を紹介する「ジョン万次郎資料館」

土佐清水市中浜出身の中浜万次郎(ジョン万次郎)は14歳の時、出漁中に遭難し、アメリカの捕鯨船に救助されました。そして、アメリカで英語や航海術などを習得した後に鎖国中の日本に帰国。その情報・知識・技術は坂本竜馬をはじめ、多くの人物に影響を与えました。この資料館ではジョン万次郎の生涯を模型やパネル展示を通して紹介。2018年のリニューアルオープン以降は、海を描いたトリックアートや波のプロジェクションマッピングなどが導入され、大人から子どもまで幅広い世代が楽しめるようになっています。

住所:土佐清水市養老303 TEL0880-82-3155

●自然の力が生み出した奇岩を觀賞できる「見残し海岸」

歩いていくにはあまりにも難所のため、弘法大師がこの地を見残したことからこの名がついたとされる景勝地。現在はグラスボートで渡ることができ、波や風に浸食された奇岩を觀賞することができます。

住所:高知県土佐清水市竜串

●足摺宇和海国立公園

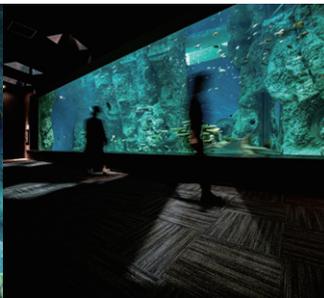
1972年に誕生した国内26番目の国立公園で、変化に富んだ海岸景観が特徴。面積は高知県、愛媛県をまたいで1万1345ha(陸域)に達します。高知県の足摺地域は豪大な断崖絶壁が続き、黒潮の影響で海水温が高いことから亜熱帯性の海洋生物やサンゴが観察できるのが魅力。一方、愛媛県の宇和海地域は典型的なリアス式海岸で、繊細な入り江と島嶼景観があります。公園エリア内には日本有数のダイビングスポットが点在する他、内陸部には標高1000m級の山々や自然林も多く、冬期には山間部に雪が積もることも。今年11月に国立公園指定から50年目を迎えるため、さまざまな50周年記念イベントが公園内各地で開催中。土佐清水市ではフォトコンテストやスタンプラリーなどが行われています。



かつて日本に広く生息していたニホンカワウソは2012年に絶滅種に指定。ここではユーラシアカワウソを展示している



竜串湾大水槽。サンゴと色鮮やかな熱帯魚やイシダイなどの温帯性の魚を展示。海洋館の目の前の竜串の海には108種ものサンゴが生息しており、シコロサンゴ大群落をはじめとする「見残湾の造礁サンゴ」は高知県の天然記念物に指定されている



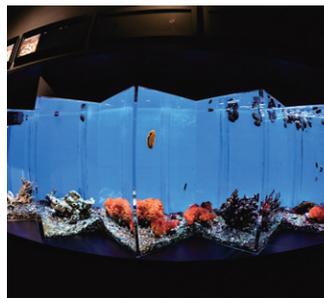
桜浜をはじめ足摺・竜串の海岸にはアカウミガメが毎年産卵にやってくる砂浜がある。こちらの展示はアオウミガメ



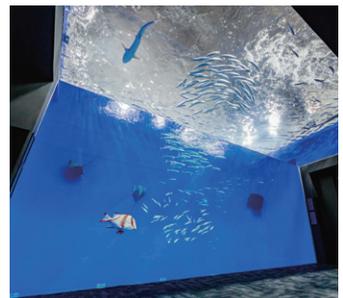
ショップ併設のカフェ・カレント



ショップには高知県西部の土産品が並ぶ



ウミウシやクラゲの展示水槽



外洋水槽。マグロやカツオ、サバなど回遊魚と呼ばれる魚たちが暮らす外洋は、黒潮が生み出す豊かな恵みの象徴。多面的な水槽で、清水サバ(ゴマサバ)、アジ、サメ、エイの仲間を觀賞することができる

そんな当館がある土佐清水市の沿岸は暖流（黒潮）の影響を強く受けており、緯度の割に海水温が高いのが特徴です。そのため、海洋館の目の前の竜串湾にはサンゴ礁が広がり、熱帯・亜熱帯の魚類が多く見られる多様性に富んだ海となっています。そして、その生態系をリアルに再現した展示水槽では竜串をはじめとする足摺周辺海域はもちろん、高知県東部の室戸沖などに生息する生き物も展示中です。その数は約350種、1万5000点に達しており、ウミウシやクラゲなどの常設展示も実施しています。

展示コンセプトは「豊かな海は豊かな森が育む」

当館は「海と自然のアドベンチャーミュージアム」「躍動する命に出会う場所」（あらゆるいのちは海とつながり、海と生きている）といったキャッチフレーズを掲げていますが、これには「海洋館だけではなく、施設周辺の自然もミュージアムの一部として捉えていこう」という思いを込めています。その思いは展示内容にも表れており、「豊かな海は豊かな森が育む」というコンセプトの下、展示に関しては足摺の原生林から竜串湾、足摺の海に至る水の流れを再現しています。太平洋だ

けでなく、森や川の生態系をつぶさに観賞できるとあって幅広い層に好評で、リニューアル以降、2022年6月時点で34万5376人ものお客様にご来館いただくことができました。

また、館内にあるショップではオリジナルグッズや高知県西部の土産品などを取り扱っている他、併設のカフェ・カレントではカレーやホットドッグなどの軽食を提供しています。コロナ禍にあつては新型コロナウイルス感染症対策として職員の毎朝の検温や手指の消毒、入館時の検温器・消毒器の設置、繁忙期の入館者数制限、扉の定期的な開放、換気装置による館内の常時換気などを実施しているので、安心してご来館いただければと思います。

足摺の魅力がギュッと詰まった足摺海洋館「SATOMI」。まずはこの施設で一带の自然の概要を学んだら、今度は実際のフィールドに身を投じてほしいと思います。当館の周辺には自然を満喫できるアクティビティが満載、磯遊びはもちろん、グラスボートや海中展望塔、シュノーケリングなどを楽しむことができますので、ぜひとも全身で大自然を堪能してみてください。



グラスボートからは海底のサンゴ礁と熱帯魚が目の前に



赤と白にペイントされた海中展望塔「足摺海底館」。らせん階段を降りた先にある部屋には丸い窓があり、そこから海中を眺めることができる。また、高さ10mの展望室からは雄大な太平洋を一望できる



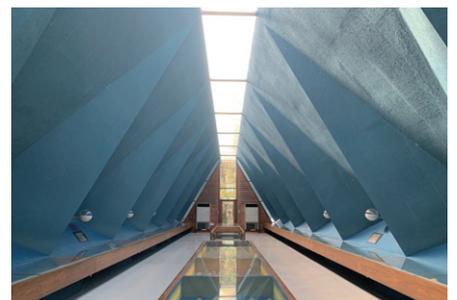
竜串湾大水槽は水面からも生き物たちを眺めることができる。水槽と海がつながっているように見える人気の撮影スポット



竜串・見残しの海岸に広がる「奇岩」。見残し海岸は風や波の浸食でできた奇岩の宝庫で、地質の博物館とも呼ばれている



ジョン万次郎資料館



貝類の博物館「海のギャラリー」。約3000種50000点の貝を展示

会員限定

無料

Web特別版

オンラインセミナーのご案内

— 職員の皆様のスキルアップにお役立てください —

毎年開催している人気の「実践セミナー」。

そのオンライン版が、ミロク会計人会ホームページにて、会計会の会員限定で公開中です。

“時間や開催場所”の都合で実際のセミナーに参加できなかった方はぜひご活用ください！

会員限定、無料で視聴可能

視聴回数などの制限はありません。無料で、何度でも視聴できます。

先生だけでなく、事務所の職員の方もぜひご覧ください。

オンラインセミナーへのアクセスはかんたん3ステップ

1. ミロク会計人会ホームページへアクセス

<https://www.mirokukai.ne.jp/>

Web検索から

QRコードで

会計会

検索

タブレットからも
閲覧できます！



2. ID・パスワードを入力しログイン



3. オンラインセミナーにアクセス



※ID・パスワードをお忘れの方は、ログインページ右下
「パスワードをお忘れの方はこちら」からお問い合わせください。

パスワードをお忘れですか？

パスワードをお忘れの場合は、ご自身でパスワードの再設定手続き、または事務局での相談（パスワード再発行を申請させていただきます）。

パスワードをお忘れの方はこちら

表紙の写真



「静寂に包まれる
大歩危峡・小歩危峡」
(徳島県三好市)

「大歩危小歩危（おおぼけこぼけ）」は、2億年の時を経て四国山地を横切る吉野川の激流によって創られた約8kmにわたる渓谷で、大理石の彫刻がそそりたっているかのような美しい景観を誇ります。大歩危峡は2014年3月18日に国指定の天然記念物に指定され、15年10月7日には国指定名勝となっております。（阿波ナビより）

MJSより

製品解説の動画などを
YouTubeで配信中！



MJS YouTube
公式チャンネル

税理士事務所 CHANNEL

発行 株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-29-1
TEL. 03-5361-6309
(経営企画・広報IRグループ)

発行人 是枝周樹
編集企画 ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局、
経営企画・広報IRグループ

監修 ミロク会計人会連合会広報委員会

配信制作 東方通信社

印刷 耕文社

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、
各社の商標または登録商標です。禁無断転載

ホームページにて本誌データを公開しています！こちらをご覧ください

ミロク会計人会

検索

<https://www.mirokukai.ne.jp/channel/index.html>

静音性を実現し
オフィス利用に最適な
コンパクトサーバ

FUJITSU



Compact

オフィス利用に最適な優れた省電力性、設置性

- ・幅98mmのスリムな筐体で省スペース化、静音化(実測値約17dB(A))を実現しています。
- ・使用環境の周囲温度5℃~45℃(オプション適用時)の動作サポートにより、サーバ設置環境の省電力化を促進します。
- ・防塵フィルタオプション追加で、埃等の吸入を低減でき、安定稼働を実現できます。

Remote

場所や時間を問わず、 「いつ・どこから」でもサーバをコントロール

- ・OSの稼働状況に関わらず、サーバの各部品を監視可能。モバイル端末からも操作可能です。サーバ画面を遠隔地のパソコンに転送し、操作が可能。ビデオ録画で操作手順の保存も行えます。(リモートマネジメントコントローラアップグレード)オプション適用時)

Fujitsu Server PRIMERGY TX1320 M5

- CPU: インテル® Pentium® Gold プロセッサ、インテル® Xeon® プロセッサ
- OS: Windows Server 2022 Standard
- メモリ: 最大128GB(16GB 3200 UDIMM ×4)
- HDD: 3.5インチノンホットプラグ: 最大24TB(BC-SATA HDD)
2.5インチホットプラグ: 最大19.2TB(SAS HDD) / 16TB(BC-SATA HDD) /
61.44TB(SATA SSD) / 16TB(PCIeSSD)

2023年10月
Windows Server 2012/2012 R2サポート終了

PCサーバの入れ替えはお早めに

第3世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載可能な2WAYラック型サーバ



PRIMERGY
RX2530 M6



PRIMERGY
RX2540 M6

●Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。●記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。